学校番号	118

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 改訂 地学基礎(第一学習社)						
副教材等	改訂 ネオパルノート地学基礎(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

我々が住む地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識を持って授業に取り組んでください。
そして科学的な見方や考え方を養い、社会にはびこる様々な情報を正しく理解し、正しい判断ができる様になりましょう。

2　学習の到達目標

・宇宙の誕生と地球の形成について考察，探究し，宇宙と惑星としての地球の特徴を理解する。
・変動する地球について観察，実験などを通して探究し，地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギー、生物の変遷など様々な要素によって変動してきたことを理解する。また，地球の環境と人間生活とのかかわりについて理解する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。 また、地球温暖化に代表される環境問題など、身近な事柄についても関心や探求心を持つ。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断した事を、言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察･実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	宇宙における地球	宇宙の始まり	○				a: 宇宙の始まりを学習し，ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて理解する b: 太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し，太陽の構造について理解する。 c: 誕生から終末までの太陽の一生について学習し，進化の過程で炭素や酸素が生成されることを理解する d: 太陽系の構造と誕生について学習し，太陽系がどのように形成されたのかを理解する。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		宇宙の広がりと銀河の分布				○		
		太陽の構造・組成・誕生と将来	○					
		太陽系の構造		○				
		太陽系の誕生				○		
		地球型惑星 木星型惑星			○			
2学期	活動する地球	地球の姿	○				a: 地球の形や大きさについて学習する。 b: 地球の層構造を学習し，表面と内部の性質の違いを理解する。 c: ・世界および日本の火山の分布について学習する。 ・地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。 d: 地層の形成と堆積構造について学習する。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		地球の内部構造		○				
		火山活動と地震				○		
		地層と堆積構造・堆積岩			○			
3学期	移り変わる地球	地殻の変動・変成岩	○				a: 広域変成岩に関連して，接触変成作用を学習する。 b: 化石のでき方および示相化石と示準化石を学習する。 c: 相対年代と数値年代について学習し，地質時代の区分について理解する。 d: 先カンブリア時代から新生代第四紀までの，地球環境の変化と生物界の変遷を理解し，知識を身に付ける。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		化石・地層の対比				○		
		地質時代とその区分			○			
		地球環境の変化と生物界の変遷	○					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c: 観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。